

6. 東郷山山域

東郷山(977m)の頂上北側には四本杉やブナなどの巨木の森が残る大きな山である。南側は古い笹ノ東郷山の名前の通り、笹藪が酷い。東郷山の渓谷は大きく4つあるが、東側を除いて、林道と登山道がアプローチと下山路に使える。南側の伏谷川では、芸備諸村瀑布図に描かれた白井の滝が有名であるが、本流以外は沢登りの対象となる枝谷は見当たらない。本流もすぐ脇を林道が沿っているので、興はそがれる。東側の大谷川本流は林道が高い所を通っているが、大谷川渓谷の滝やゴルジュの淵など、沢登りを楽しめる。林道終点の左谷の出合には、まきのおの滝があり、その奥にも淵や小滝が続くが、中流部は平凡な流れの区間が長い。一方、右谷の出合には五段返しの滝があり、その上部は、淵、ゴルジュ、大滝と飽きさせず、上流部も溪畔林のなかにナメの小川が続いている。下山路は、地形図の破線路を利用できるが、上部はわかりにくくなっている。北側の恵下谷流域は、顕著な枝谷が4本あり、その内3つが大滝を有し、楽しめる。中でも、四本杉のある谷は、「広島県の滝」で紹介された恵下谷中の谷が秀でていて、溪畔林保全区であり登り詰めれば、苔むした谷をブナの森に出る。恵下谷本流も林道下にゴルジュや大滝をのぞめる良い溪相であるが、残念ながら上流部に広島市の最終ゴミ処分場が建設されてしまった。国体コースを下山路に取る場合は、植林帯の下りが長い。東側には下伏谷川があるが、平凡そうなので、まだ未見である。南側に位置する寒山(869m)は、稜線には大岩が多く面白いが、稜線付近を除き、植林の山である。谷としては、八幡川支流の大古谷の滝がある谷、日浦畑川支流の谷があげられるが、いずれも出合付近の大滝のあとは植林帯の平川が続き、遡行価値は低い。これは、日浦畑川に沿った断層があるため、断層上の緩斜面のあと、頂上まで急斜面となっている地形による。

寒山 八幡川支流 大古谷の滝の谷

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-3550152.html>

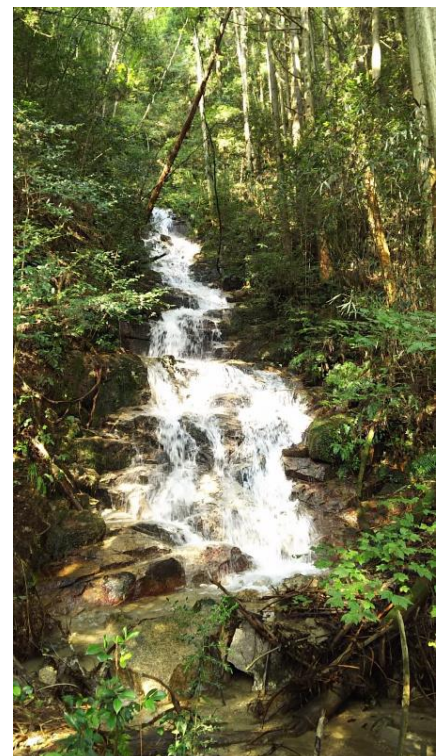
日程 2021年09月23日(木) [日帰り]

アクセス 利用交通機関 バス 大古谷バス停

コースタイム 日帰り 山行 4時間29分 休憩 17分 合計 4時間46分

S 大古谷バス停 09:46 10:47 奥二俣 11:43 大畑林道 11:50 12:24 698 ピーク 12:34 13:01 寒山 14:32 大古谷バス停 G
コース状況/危険箇所等 大畑林道からの寒山への道は赤テープも多く、良く踏まれている。698m ピークから南東尾根を大古谷方面へ下る道は、途中まで地籍調査の杭もあり、踏み跡も明瞭だが尾根末端で谷を渡り、右手の尾根に移ったあとで荒れており、不明瞭になる。

大古谷の滝は旧国道わきにあり、湯来滝めぐり*の砂谷地区で紹介されている有名な滝で、さらに登るとえんこう淵という深い滝つぼがあるという。ならば、まだ登っていない寒山(869m)の登路として探ってみることにした。しかし、地形図では滝の上は等高線の緩い谷が続いているが大丈夫か？結果は、やはり沢としての興



味は最初のみで、あとは延々と植林帯の平川の遡行となった。自然林ならまだ救いがあるが... 大畑林道近くでやっと滝が復活してきたが、水量が少ない。そのあとの寒山までは急登につぐ急登でなかなか頂上につかない。寒山恐るべし。復路は大古谷寄りの日浦畑に下ったが、途中の谷で大滝を見つけた。(写真は大古谷の滝)

☞大古谷の滝上の樋状F2(3m)は、手がかりなく、登れず右から少し悪い高巻き。えんこう淵奥の3m(F3)もずぶ濡れにならないと登れそうにないので、巻き続ける。

*<http://www.hint.or.jp/~yuki/hanro/yuki taki/takitop.htm>

寒山 日浦畑川支流 大谷川

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-3583246.html>

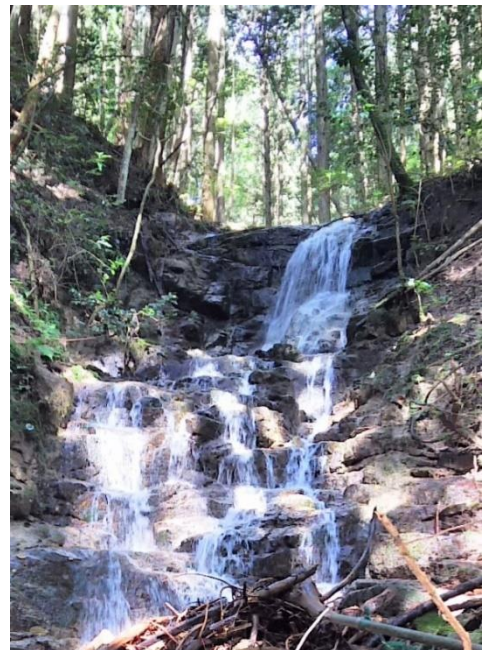
日程 2021年10月02日(土) [日帰り]

アクセス利用交通機関 車・バイク 県道77号線の大曲手前カーブの避難帯に駐車

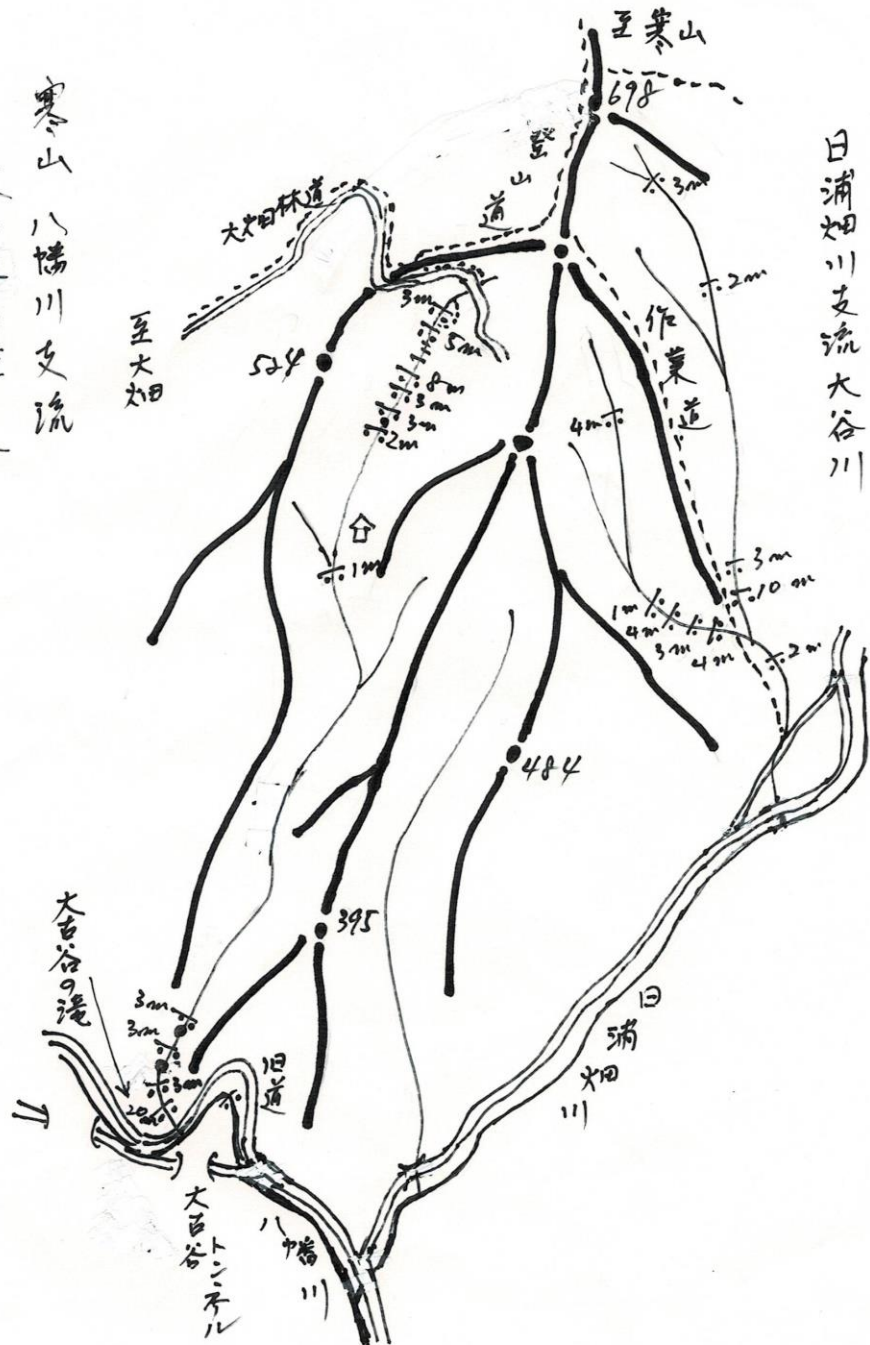
コースタイム 日帰り 山行 3時間19分 休憩 8分 合計 3時間27分

Sスタート地点 09:31 10:07 二俣 11:20 トラバース道 11:32 登山道 11:40 12:58 ゴール地点 G
コース状況/危険箇所等 地形図に示されている県道の大曲をショートカットする破線の道(古道)は荒廃している

前回の大古谷の滝の谷の下山中に見つけた大滝を登るために日浦畑川の支流を登下降してきた。取り付き近くで農作業しておられた年配の方に聞くと、大谷川と呼ぶそうであるが、谷沿いの道は廃れていると言われた。さて、結論としては出会いの大滝以外興味のある滝はなかった。残念ながら2回続けてハズレである。標高600mあたりに境界杭のあるトラバース道があり、その付近から上は自然林になるが、それまでは植林帯で面白くない。下で会った方も杭を打ちに登ったとおっしゃっていたので、多分、共有林か何かで古くから植林がされていた所なのであろう。古道沿いには荒廃した畑が残り、往時の生活をしのばせた。広島県林務部編「広島県の滝」によると日浦畑川に沿って断層があるので、これらの大滝は断層面にできたもので、その上は平坦で滝が無いのでは？寒山は標高はあるのに、滝には恵まれないようだ。(写真は右俣出会いの15m滝)



寒山 八幡川支流
大古谷の滝の谷



東郷山 大谷川左谷

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-4452178.html>

日程 2022年07月02日(土) [日帰り]

アクセス利用交通機関 車・バイク 吉山・中畑集落の法隆寺下の県道わきのスペースに駐車

コースタイム 日帰り 山行 5時間4分 休憩 12分 合計 5時間16分

S 法隆寺下 09:28 09:31 東郷山「五段返しの滝コース」登山口 10:29 まきのおの滝 11:10 二俣(左沢出会い) 11:50 奥二俣上 12:00 13:26 四本杉分岐 13:28 13:34 戸山車庫分れ 14:41 東郷山「五段返しの滝コース」登山口 14:44 法隆寺下 G

コース状況／危険箇所等 一般登山道の東郷山から沼田・吉山への下山路は笹がかぶっているが、よく見れば道はわかる。落ち葉ですべりやすい急坂に注意。

その他周辺情報 法隆寺わきに参拝者用?のトイレあり。

沼田吉山の大谷川は、まきのおの滝と五段返しの滝が知られているが、以前、東郷山を登った時、吉山コース沿いの溪谷が美しかったので、大谷川の本流中ほどから、左谷に継続して遡行してみた。本流は、右岸に林道が近づくところもあるが、それを気にしなければ、深く長い淵やきれいな広いナメが楽しい。左谷は大谷橋をくぐって、まきのおの滝の直登から始まる。滝の上は、短いながらゴルジュ内に淵と小滝とナメが続き、溪谷美を味わえる。本流である右沢は登山道を横切ると、ミニゴルジュとなる。その後、しばらく平坦な流れをがまんしていくと、傾斜が復活し、ゴルジュの後に大滝があらわれた。詰めは、谷を辿ると、それほど藪漕ぎなく、東郷山の頂上付近に出た。(写真は本流の淵と、まきのおの滝)

☞まきのおの滝は左隅に登れる。



東郷山 大谷川右谷

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-4476584.html>

日程 2022年07月10日(日) [日帰り]

アクセス利用交通機関 車・バイク 吉山・法隆寺下の県道わきスペースに駐車。大谷川沿いの林道は舗装されて奥まで入れるが、離合できる場所は少ない。

コースタイム 日帰り 山行 5時間24分 休憩 10分 合計 5時間34分

S 吉山・法隆寺下 09:53 10:30 五段返しの滝 11:56 右谷奥二俣 12:06 13:30 右谷左沢の詰め 14:00 大谷川左谷枝沢下降 14:45 枝沢出合登山道 15:27 吉山・法隆寺下 G

コース状況／危険箇所等 1/2.5 万図の大谷川右谷の右岸尾根の 882m 頂に至る破線の路は、ほぼ廃道。特に尾根が広い上部は笹に覆われ不明となる。

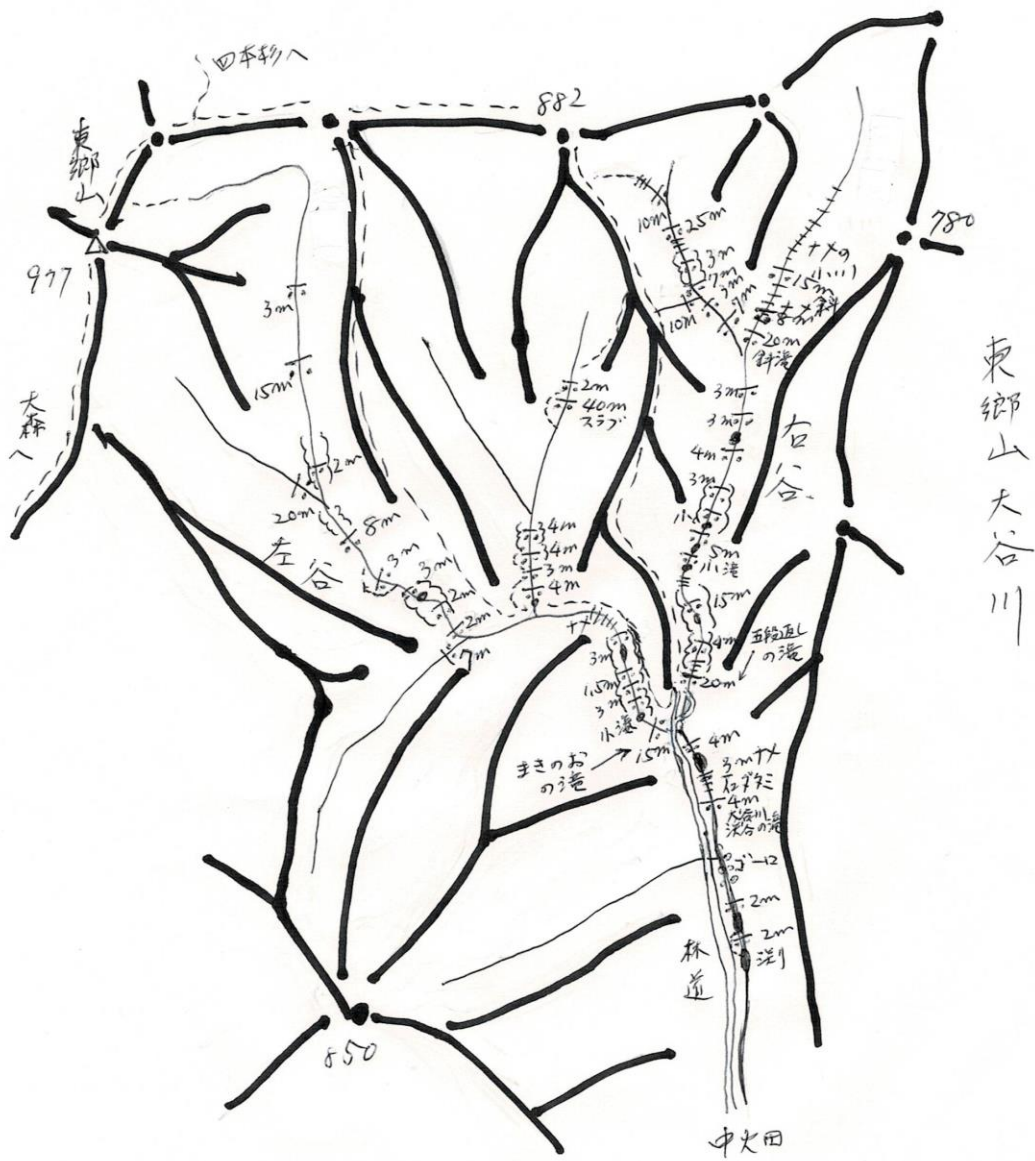
その他周辺情報 法隆寺わきに参拝者用？トイレがある。

東郷山・吉山ルートの大谷川右谷にかかる五段返しの滝の上を見た人は多くないのではなかろうか。それほど期待はしていなかったのだが、滝、ゴルジュ、ナメが繰り返し現れ、飽きさせない期待以上の良い谷だった。滝はいずれも楽しく登ることができ、淵は小さいながらも深く、ナメは溪畔林の中に延々とつづき、天国のようなところだった。詰めは尾根を越して、大谷川左谷の枝沢を降りた。この沢は上部にスラブ状大滝を有するが、中間部は平凡だった。(写真は五段返しの滝と、ゴルジュ内15m滝)

☞ 大谷川右谷出会い五段返しの滝 F1 (20m)は左隅に登れる。

☞ ゴルジュ内 F3 (15m)は釜を股までつかって、右を快適に登れる。





東郷山大谷川

東郷山 恵下谷川四本杉の谷

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-4286587.html>

日程 2022年05月14日(土) [日帰り]

アクセス利用交通機関 車・バイク 湯の山温泉の加計寄り、水内川にかかる恵下谷橋を渡って50mほど右手の市道わき空き地に駐車。恵下谷林道へは、採石場の中を通るので、休日が良い。恵下谷林道は舗装されており奥まで入れるが、谷沿いで落石多く、離合できる場所は少ない。

コースタイム 日帰り 山行 6時間56分 休憩 15分 合計 7時間11分

S 恵下谷橋南詰め 09:33 10:15 四本杉の谷の出会い 10:20 12:27 登山道横断点 12:37 14:08 四本杉 14:50 白砂谷下降点 15:58 恵下谷林道 16:44 恵下谷橋南詰め G

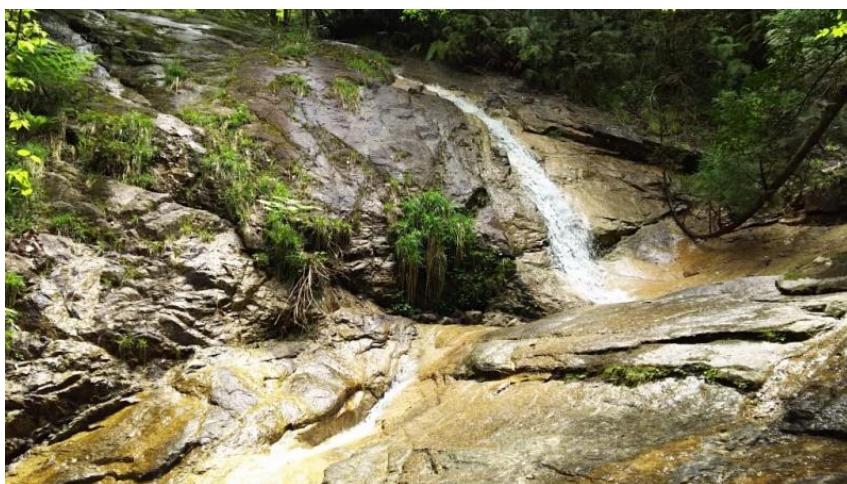
コース状況／危険箇所等 一般道の部分、四本杉から湯来和田に降りるコースは道が細く荒れており、倒木と斜面の崩れにより道が無くなっている所が2箇所あり。

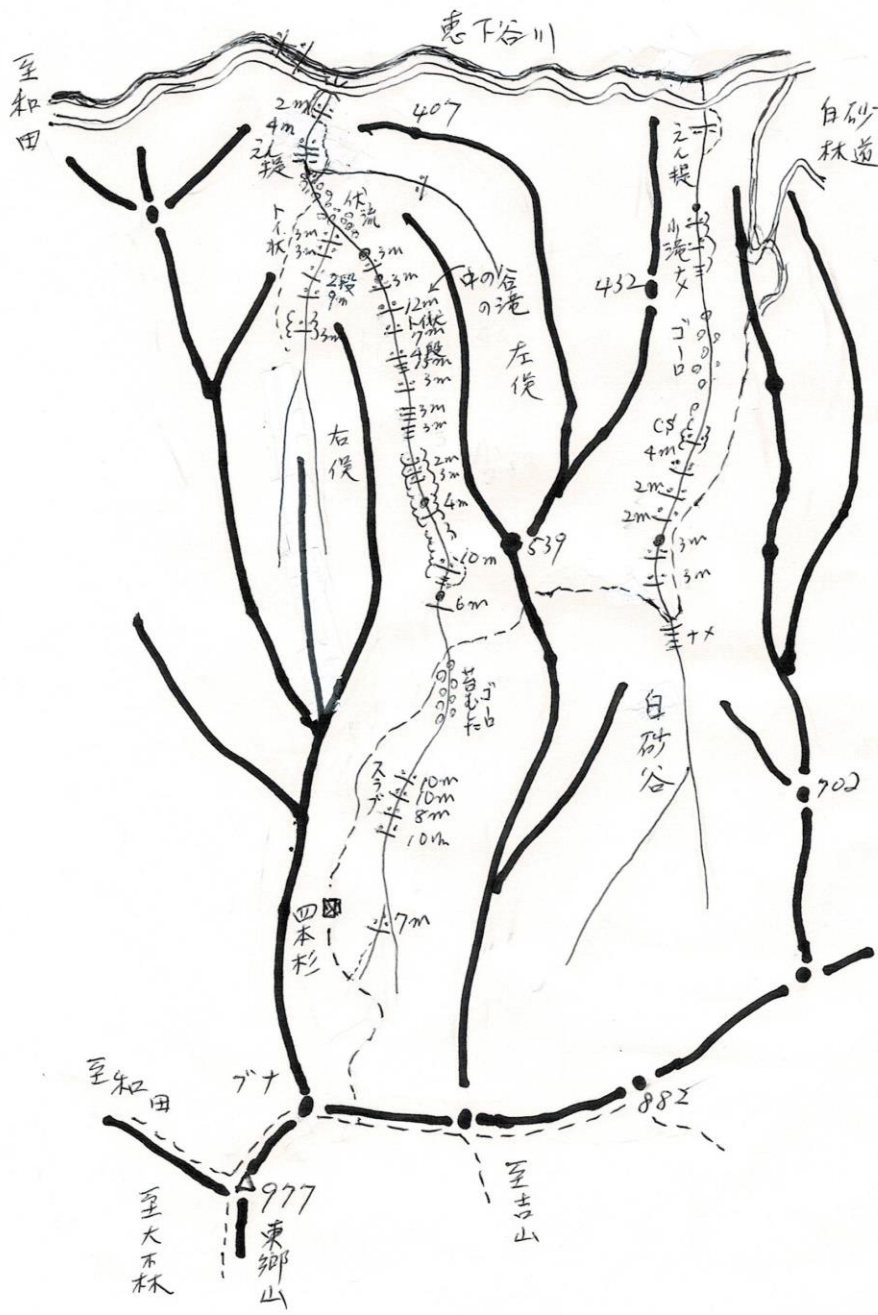
東郷山の四本杉のある東斜面を源とする恵下谷(えげだに)川支流の滝は、昭和60年発行の広島県林務部編集「広島県の滝」に、恵下谷「中の滝」として紹介されている。この枝谷(四本杉の谷と仮称)は、広島森林管理署より、生態系多様性の保護のため、国有林の溪畔林の保全や溪畔の自然植生の再生を図る箇所として指定されている*。また、流域一帯はスギ・ブナ・カヤの林木遺伝資源の保護林にも指定されている。「中の滝」は選ばれただけあって、白い花崗岩を水流が曲がり落ちる美しい滝である。「中の滝」以外にも花崗岩の岩盤に多くの美しい滝やナメをかけ、遡行価値の高い谷である。詰めは、しっとり苔むし、兩岸をブナや樅で囲まれた雰囲気のある急峻な谷となる。核心部だけならば、途中で横切る四本杉からの登山道を下ることができる。今回、下降に使った白砂谷は、上流部は名前のお通り花崗岩のナメの続くきれいな谷だった。(写真は中の滝12m)

☞ 4段 F6(15m)の下3段は右を登り、最上段はバンドをシャワーを浴びてトラバースし、フリクションぎりぎり左手を登る。

☞ 直角方向から落ちる F12(10m)は左手のガリーより小さく高巻く。

*[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/keikaku/shinrin keikaku/keihanrin toriatsukai.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/keikaku/shinrin_keikaku/keihanrin_toriatsukai.html)





東郷山 恵下谷川 四本杉の谷・白砂谷

東郷山 恵下谷川支川 2

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-4341489.html>

日程 2022年05月29日(日) [日帰り]

アクセス利用交通機関 車・バイク恵下谷橋南詰め、東郷山国体コース登山口手前の市道を右に入った空き地に駐車。採石場が恵下谷林道入口にあるので、平日は避けたほうが良い。

コースタイム 日帰り 山行 3時間41分 休憩 17分 合計 3時間58分

S 恵下谷橋南詰め 09:29 09:48 恵下谷川支川2 出会 09:55 11:25 遡行切り上げ点 11:35 11:49
中間尾根鞍部 12:53 四本杉の谷堰堤 13:27 恵下谷橋南詰め G

コース状況／危険箇所等 恵下谷林道は舗装されており奥まで入れるが、谷沿いで落石多く、車の離合場所は少ない。恵下谷支川 2、四本杉の谷右俣、およびその中間尾根には、作業道を示すテープはあるが、一般的ではない。

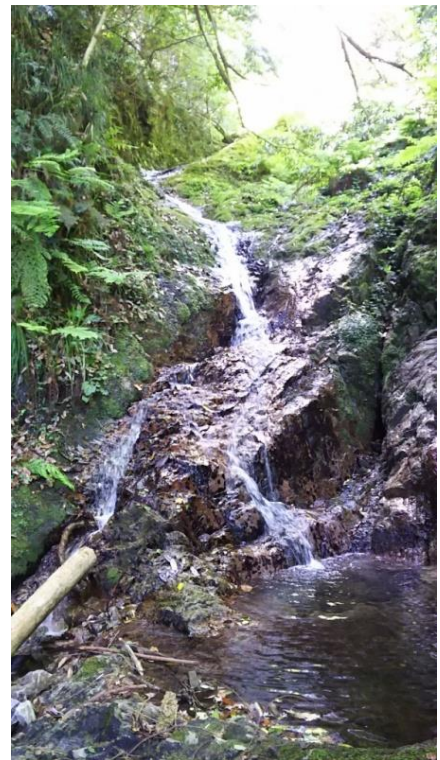
その他周辺情報 湯の山温泉がすぐ近く。

恵下谷(えげだに)川支川 2(仮称)は、恵下谷川に左岸から流入する下流から2番目の枝谷である。小さな谷ではあるが、1/2.5万地図でみて地形的に面白い。東郷山の北麓を源とするが、そのまま北流するのでなく、420頂のある枝尾根に阻まれて、流れを大きく西に変えているあたり、等高線が詰まり、谷幅も狭まっている。山頂から少し離れ、489頂の枝尾根にも囲まれて隠れ谷的な空間が思われる。上流は東側の痩せ尾根を越えれば、隣は先日遡行した四本杉の谷の右俣である。さて、実際に訪ねてみると、岩質は四本杉の谷と同じ白い花崗岩で、美しく落差のある滝をいくつか掛け、その間は小滝と、ナメ、釜が連続する遡行が楽しめた。水量が少ない分、ぬめりは多いが、溪畔林と苔の緑も美しく、癒される小谷であった。最上流部は興味が薄れたので切り上げて、四本杉の谷の右俣を下降した。(写真は3段30m滝)

☞ 曲がり落ちる F3、2段 8m の中・上段は右から。

☞ F4、3段 30m は水流を直登した。

☞ F8、15m はフレーク状を登ったが、最後が微妙だった。



東郷山 恵下谷川支川 1

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-4363382.html>

日程 2022年06月04日(土) [日帰り]

アクセス利用交通機関 車・バイク恵下谷橋東詰め、東郷山国体コース手前の市道を右に入った空き地に駐車。恵下谷林道は舗装路で奥まで入れるが、落石多く、離合できる場所は少ない。林道入口に採石場があるため、平日は避けた方が良い。

コースタイム 日帰り 山行 6時間0分 休憩 22分 合計 6時間22分

S 恵下谷橋東詰 09:28 10:57 二俣 12:20 第1堰堤 12:30 13:18 東郷山林道終点 13:30 14:19
国体コース登山道 15:50 恵下谷橋東詰 G

コース状況／危険箇所等 東郷山国体コースは荒れている。赤テープはあるが、植林作業用も多く、間違わないように、地図と磁石は必見。三角点のある 678 頂に向かう赤テープもあるが、登山道は 678 頂は通らず、西に分岐するので注意。登山(下山)口近くは、転げ落ちそうな急坂が続くので慎重に。

その他周辺情報 湯の山温泉が近く

東郷山の西尾根を水もととする恵下谷(えげだに)川支川 1(仮称)を遡ってみた。恵下谷林道に入ってすぐに恵下谷川の左岸より流入する谷である。東郷山林道の屈曲点から谷に降りる踏み跡をたどって入渓するが、林道は、かなり高い所を通っているので、遡行の気にはならない。下流部は、溪相は良いものの大きな滝はなく、落胆しかけたが、左に枝谷を分ける頃から傾斜を増して滝が連続するようになった。大きな滝がいくつかあるが、特に、上部のゴルジュ内の直滝は迫力があり、左岸を巻いたが谷から立ち上がった大岩に阻まれ厳しかった。(後日、右岸を巻いたら、けもの道があった)。最上流にある 2 つの堰堤が残念だったが、なかなか手強く面白い谷である。下りの国体コースは荒れていて長かった。やはり、東郷山は大きな山である。(写真はゴルジュ内15m滝)

☞大きな白いスラブを落下する大滝 F8、20m は左より巻く。

☞ナメの奥の F9、7m は、右より巻く。

☞ゴルジュの奥の迫力ある直滝 F13、15m は、左のけもの道から巻く。上の第 1 堰堤も、左から越す。

